

別紙標準様式(第7条関係)

会 議 録

会議の名称	令和3年度 第8回 枚方市新しい学校づくり協議会
開催日時	令和3年11月27日(土) 10時00分から11時00分まで
開催場所	中宮北小学校図工室
出席者	会 長：大村委員 副会長：加嶋委員 委 員：森田委員、森委員、中田委員、明井委員、春永委員、山下委員、栈敷委員 事務局：高橋総合教育部次長、畑中新しい学校推進室課長、嶋田課長代理、石田係長、多田主任、廣瀬主任
欠席者	松浦委員
案 件 名	1. 禁野小学校における「新しい学校づくり」(案)について 2. 禁野小学校の校章校旗及びマフラータオルについて 3. 令和4年度禁野小学校教室配置(案)について 4. 禁野小学校校歌の経過について 5. その他について
提出された資料等の名称	資料1-1 禁野小学校における新しい学校づくり(案) 資料1-2 水泳授業の民間活用<基本的な考え方>(案) 資料2 禁野小学校の校章校旗マフラータオル 資料3 令和4年度禁野小学校教室配置(案)
協議・決定・報告事項	1. 今後、「新しい学校づくり」の策定に向け進めていく。 2. 禁野小の校章に基づき、校旗や記念品(マフラータオル)等の作成を進める。 3. 令和4年度禁野小学校教室配置(案)を確認した。 4. 禁野小校歌歌詞について、今後、評価員の意見をお聞きし教育委員会が決定する。 5. 両校交流事業等、通学路・留守家庭児童会室におけるワーキングチーム、説明会や工事の状況等について報告した。
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	公開
会議録等の公表、非公表の別及び非公表の理由	公表
傍聴者の数	0人
所管部署(事務局)	総合教育部 新しい学校推進室

協議内容

案件1 禁野小学校における「新しい学校づくり」(案)について

<事務局の説明>

(資料1-1、資料1-2について、要点を説明)

- ・第4回協議会にて、案件4「高陵・中宮北小学校の統合による新しい学校づくりについて(案)」として、委員の皆さまからご意見をいただいた。
- ・そのご意見や、有識者のご意見も踏まえて庁内での協議を進めながら、11月25日の教育子育て委員協議会にて報告した。
- ・現在、学校名も決まったことから、「禁野小学校における「新しい学校づくり」(案)」として、今回の協議会にて報告を行う。

<質疑・意見など>

(委)「新しい学校づくり」(案)は基本的なコンセプトであり、予算等の関係でこの内容から減る場合もあるという認識でよいか。

(事)予算の範囲内で整備を行うことは間違いないが、「新しい学校づくり」(案)を基に新しい学校の整備を進めていきたい。

(委)「関西外国語大学と連携した取り組み」とあるが、同大学とは協議済なのか。

(事)枚方市と同大は連携協定を結んでいる。現在、高陵小も中宮北小も連携しながら取り組んでおられるが、禁野小ではもう少し歩みを進めて考えたい。具体的な取組みはまだ決まっていないが、教育委員会、学校、同大と協議しながら進めていきたい。

(委)とても良いことを書いているが、絵に描いた餅にならないか心配である。

(事)例えば先進都市である守口市では、枚方と同程度の予算で「新しい学校づくり」(案)で示すような学校づくりを行っている。今後、先進都市への視察(協議会委員の皆さまと一緒に)も検討していきたい。

(委)「SDGsの持続可能な達成目標」も達成できるのかどうか心配である。

(事)高陵小、中宮北小でもSDGsに関する取組みは進めていただいております。ソフト面ではあまり変わらないと考える。ハード面で、達成がより感じられるような施設づくりを考えていきたい。

(委)「新しい学校づくり」(案)は来年度以降の施設(中宮北小)の話になるのか、新校舎での話になるのか、どちらか。

(事)最終的には新校舎に関することであるが、令和4年度から取り組む必要がある課題もあるので、1つずつ積み重ねていきたい。

(委)令和4年度から取組みを進めるもの(ソフト面)と新校舎(ハード面)とで2段階に分けてもよかったかもしれない。

(委)小学校のプールは児童だけのものだけでなく、地域防災という側面もあるが、枚方市としてプールは今後、無くしていく方針でよいか。

(事)市内のプールは老朽化し維持管理が困難になってきており、水泳授業における民間活力を活用することで検討を進めている。また、学校のプールは消防水利には含まれていないが、関係機関と調整しながら進めていきたい。

(委)この付近の学校であれば近隣に民間等のプール施設があるが、そうでない学校もある。

(事)すべての学校で民間活用するかどうか、実証期間の検証も踏まえ、検討していきたい。

(委)子どもたちにとって快適、整えすぎる施設よりも、不便ながらも創意工夫することが教育のあり方だと考える。例えば令和4年度以降の仮設校舎での運営がそうである。

(会) 禁野小学校における「新しい学校づくり」(案)については、今後も協議会へ状況報告をお願いします。

案件2 禁野小学校の校章校旗及びマフラータオルについて

<事務局の説明>

(資料2について、要点を説明)

<質疑・意見など>

- (委) 校章のマークが綺麗な青なので、校旗(儀式用)の校章も同じ青色にした方がよいのではないか。
- (事) 他の学校における校旗(儀式用)の校章は、多くが白色である。
- (委) 両校の先生方が決められたのだから、このままでいいと思う。
- (委) 最終案を決めたのは教育委員会である。
- (委) 校章のデザイン的には斬新かつ近代的でよいと思う。
- (事) 記念品(マフラータオル)については、今の1～5年生以外に、6年生と来年の新1年生の分も含めて用意する予定。配布時期は卒業式や開校式等が考えられる。
- (会) 禁野小の校旗、マフラータオル等について事務局で発注手続きをお願いします。

案件3 令和4年度禁野小学校教室配置(案)について

<委員(学校長)の説明>

(資料3について、要点を説明)

- ・案1は支援学級8学級、案2は支援学級7学級を想定(来年3月に支援児童数が判明)
- ・支援学級の1クラスあたりの上限は学級編成の標準で8人と決まっているが、実際は児童1人1人のニーズに応じた個別指導を実施している(1クラスあたり2～3人もしくは4～5人)、教室を半分に分けても指導は可能であると考え。
- ・支援学級は発達状況や個別のニーズ等を踏まえ違う学年同士で編成しており、普通学級からの移動等が負担にならないよう、配置を考えていきたい。また、禁野小での支援学級の編成については、保護者のご意見をお聞きしながら両校で協議し、決めていきたい。

<質疑・意見など>

- (委) 校区集会室は別々で準備していただけるということでよいか。
- (学) 東側の仮設校舎4教室の内1つを高陵校区、西側の仮設校舎2教室の内1つを中宮北校区の校区集会室としてご使用いただくことを想定している。
- (委) どのくらい校区の備品等を移動できるのか確認する必要がある(委)ので、また部屋の大きさや完成時期等を教えてほしい。
- (事) 3月までには完成予定である。
- (委) 校区集会室(中宮北校区)の横にある多目的室はどのような用途を想定しているのか。
- (学) 外国語等、通常学級で担任が教える範囲以外の授業で使用することを想定している。
- (委) 教育委員会として、両校区に工事や検討の進捗状況等をしっかり説明すべきである。
- (委) 支援学級について、1・2年生は1階、3・4年生は2階、5・6年生は3階という認識でよいか。
- (学) 現時点でも、1階の1・2年生が2階にある支援学級まで移動して個別指導を受けており、児童の様子を見ながら1フロア分の移動は可能である(委)と考える(2フロア分の移動は避けたい)。禁野小においても、児童の様子や保護者のご要望を踏まえた中で配置

を検討していきたい。

(会) 禁野小の教室配置について、今後も状況に応じた配置をお願いする。

案件4 禁野小学校校歌の経過について

<事務局の説明>

- ・10月1日から31日までの間、合計66件の歌詞の応募をいただいた。
(内訳：両校区内7件、枚方市内27件、大阪府内10件、他府県22件)
- ・選定方法について、応募要項に記載のある応募基準に、評価員である作曲家の酒井氏とさだ東小学校の桐山校長に専門家としての選定ポイントについてご意見をいただいた上で選定基準を作成した。
- ・選定基準を基に、両評価員には66件の応募作品の中から一人3点以内で推薦理由を含めた選定作業を行っていただいている。
- ・選定作業後は、両評価員が選んだ作品に対して両評価員による意見交換の場を設定し、いただいたご意見を参考にして、12月下旬に教育委員会が校歌の歌詞を決定する予定。

<質疑・意見など>

(質疑・意見などなし)

(会) 禁野小の校歌の経過について、今後も協議会への状況報告をお願いする。

案件5 その他について

<委員(学校長)の説明(両校交流事業等について)>

(両校交流事業等について写真や映像を用いて説明)

- ・10月に両校合同の校外学習を実施した。

日にち	学年	校外学習先
14日(木)	2年生	キッズプラザ大阪
21日(木)	4年生	琵琶湖博物館
25日(月)	5年生	コマツ大阪工場
28日(木)	3年生	枚方市内めぐり
29日(金)	1年生	京都水族館

- ・仮設校舎の工事が始まって1ヵ月が経ち、通用門側の校舎はほぼ形が出来上がっている。
- ・交流の一環として、児童の図画工作をお互いの学校に展示し合った。
- ・11月24日(水)、支援学級児童の交流として、中宮北小学校にて芋掘り体験を行った。
- ・令和4年4月から円滑な学校運営ができるよう、禁野小の学校経営目標や校務分掌等について、市の教育振興基本計画を基に案を作成中。

<事務局の説明(通学路ワーキングチーム)>

- ・第1回通学路ワーキングチームは、10月23日(土)午後1時から開始し、「飛び出し坊や」に関することや、通学路(案)の経緯と安全対策等について議論を行った。
- ・「飛び出し坊や」について、交通対策課が提供している黄色い電柱幕に付け替えることができる場所の報告を依頼し、提供後の設置や管理等についてのご意見をいただいた。
- ・通学路(案)について、関西外大前の横断歩道に関することや、高陵小学校の工事が開始されてからの児童の安全対策等についてのご意見をいただいた。
- ・これらのご意見について、関係課に確認を行いワーキングチームにて報告し、学校や校区コミュニティ協議会等に相談した上で、協議会に報告を行う。

- ・第2回目通学路ワーキングチームは、本日の午後1時から開催する。

<事務局の説明（留守家庭児童会室ワーキングチーム）>

- ・留守家庭児童会室は市が運営しており、運営方法や開室日時等については同じだが、今回の統合により、留守家庭児童会室での子どもたちの生活環境が変わる。
- ・統合による課題整理を行うとともに、具体的な対策を検討するため、ワーキングチームの設置を考えている。
- ・大村会長をリーダーとしてメンバー等についてご相談させていただき、早急に開催していきたいと考えている。
- ・会議内容については、次回以降の協議会で報告する。

<事務局の説明（説明会や工事の状況）>

- ・両校児童が新たな禁野小学校に通っていただけるよう、まずは両校保護者の方々を対象に12月中に実施したいと考えている。
- ・内容については、本日お示しした「禁野小学校における新しい学校づくり」を中心に、新しい学校の整備概要、通学路の安全確保や両校の児童交流の様子、今後の工事スケジュール等についてもご説明したいと考えている。
- ・中宮北小通用門オートロック工事について、業者契約が完了しており、年内を目途に現地確認、測量に入るとの情報を得ている。

<質疑・意見など>

- (委) 令和4年度以降、関西外大前の信号を渡って中宮北小通用門を使用する児童が約300人程度いるとのことで、24棟と25棟、26棟と27棟の間を通学路として使用する場合もある旨、A地区自治会役員に地図等を用いて説明し、了承を得た。
- (会) 本日の通学路ワーキングチームでその旨報告し、協議結果をまた次回の協議会でご報告させていただく。
- (委) 子どもたちの交流の様子を実際に見て、学校統合に向けての励みとなった。

<次回の日程及び案件>

- ・開催日時：令和3年12月18日（土）10時～
- ・開催場所：高陵小学校図書室
- ・案件：「禁野小校歌の経過」、「高陵小の備品等の移転」等の報告を予定